



たくさん耕せ!



～ 作曲家・ピアニスト 加藤昌則氏 ～

先日の教育講演会では、作曲家でピアニストの加藤昌則氏にご講演いただきました。お話もたいへん興味深い内容でしたが、お話だけでなくピアノの即興演奏もすばらしく、体育館の真ん中にグランドピアノを移動して、生徒の真ん中でご自身が作曲された曲を弾かれたときには、あたかもピアノリサイタルのようでした。



音楽を始めたきっかけが女の子と仲良くなりたかったことや、ピアノを始めたのが小学校2年生と遅かったこと、自信がなかったから音楽は趣味でやっていくつもりで高校は普通科に進学したことなど、様々な興味深いエピソードや体験談とともに、ピアノの即興演奏や作曲についてのお話も織り交ぜながら、あっという間の1時間でした。

特に、ご自分の高校生の頃の経験を例に挙げながら、一つのことにとらわれずに様々なことに対応することで「自分自身を耕していく」ということの大切さについてお話された時には、今まさに進路決定に向かう3年生の生徒達は感銘を受けたことと思います。最後のピアノ演奏を終えた時には、保護者から「ブラボー!」という大きな声がかかりました。

【生徒の感想より】

- 今は耕すだけだとしても、種がまかれて花を咲かせ、大きな実をつけるための準備だと思ったら、今がとても大切なんだと思いました。
- 講演の前までは少し固い話を聞かされてつまないだろうなー、と思っていたけど、ピアノの話だけではなく、将来つまずいた時に自分の力にしたいような話でした。
- いくら遠回りしてもいい、という言葉が印象に残っています。近道をして早く上手になりたいと思ってしまうけど、じっくり固めていくのがいいのだな、と思いました。
- 今、夢や目標がない人はまだ何にでもなれる可能性が十分ある、ということ、そして、人は何かやりたいことがあればいつでもやることができる、ということを知りました。
- 僕は、「今から何かをやろう、とか決めなくてもいい。」という言葉が、とても胸に響いた。たいていのは「夢を持って」と言うが、夢らしい夢が全くない僕には「あせる必要はない」と言ってもらったように感じた。これからはまず得意なことをしっかりやっていきたい。
- 今の時点で将来は決まらないし、自分にはたくさんの可能性があるということがわかって勇気づけられました。自分の様々な可能性と輝かしい未来を信じて、日々頑張ってみたいです。

子供たちは、毎日様々な経験を積みながら、日々自分自身を「耕して」成長していきます。今回の講演会での出会いが子供たちの成長に結びつくよう心から願っています。